

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】令和 7 年 1 月 14 日(2025.1.14)

【公開番号】特開 2023-102403(P2023-102403A)

【公開日】令和 5 年 7 月 25 日(2023.7.25)

【年通号数】公開公報(特許)2023-138

【出願番号】特願 2022-2864(P2022-2864)

【国際特許分類】

B 6 2 D 5/04(2006.01)

10

【F I】

B 6 2 D 5/04

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 12 月 27 日(2024.12.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【0 0 2 4】

アシスト側ピニオン収容部 16 は、アシスト側ピニオン軸 13 を収容する部分であって、ラック収容部 14 の軸方向他方側部分の円周方向一部に配置されている。具体的には、アシスト側ピニオン収容部 16 は、ラック収容部 14 の軸方向他方側部分の上側部（図 2 の上側部、図 3 の奥側部）に配置されている。アシスト側ピニオン収容部 16 は、中心軸を前後方向に向けて配置されており、前後方向の両側の端部が開口した円筒形状を有する。アシスト側ピニオン収容部 16 の後側の端部開口部は、キャップ 21a により塞がれている。アシスト側ピニオン収容部 16 の内部空間は、ラック収容部 14 の内部空間に連通している。アシスト側ピニオン収容部 16 は、ラック収容部 14 に対し、ねじれの位置関係に配置されている。本例では、アシスト側ピニオン収容部 16 の中心軸は、アシスト側

30

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

40

【0 0 5 5】

また、本例では、ベルト 58 の張力を利用して、従動プーリ 57 に対し、駆動プーリ 56 に近づく方向の力、すなわち、下方に向いた力を付与している。これにより、基端部に従動プーリ 57 が固定されたウォーム軸 46 を、ウォームホイール 45 の側（図 5 の下側）に向けて付勢している。この結果、ウォーム軸 46 を、先端側の転がり軸受 49a を中心に揺動させて、ウォーム軸 46 の外周面に備えられたウォーム歯 48 を、ウォームホイール 45 の外周面に備えられたホイール歯 47 に押し付けるようにしている。そして、ウォーム歯 48 とホイール歯 47 との噛合部のバックラッシュを低減し、ウォーム歯 48 とホイール歯 47 との噛合部で、異音が発生することを防止している。

50